

各自治体・各企業各位

内閣府地方創生SDGsプラットフォーム 地方創生事業マッチング

内閣府地方創生応援税制を活用した
「0歳からの立腰(りつよう 腰骨を立てる)・
体幹遊び」[®]で運動能力を高め、学力も向上！

ご参画のお願い

令和4年10月12日、ソリューション登録承認

<https://match.future-city.go.jp/pages/platform/c301/2200317>

令和4年10月

公益社団法人マナーキッズ[®]プロジェクト

構成

- | | |
|------------------------------------|-------|
| 1. 設立の背景(課題)と取り組み | 3P |
| 2. 「0歳からの立腰・体幹遊び」とは | 4P |
| 3. 実践プログラム | 5P |
| 4. 実践後の効果 | 6P |
| 5. 地方創生SDGs事業マッチング構想 | 7～8P |
| 6. ○○市「三つ子の魂百まで」プロジェクト
(仮称)展開策案 | 9～13P |
| 7. 企業版ふるさと納税の使途(案) | 14P |
| 8. 目指すもの | 15P |

1. 設立の背景(課題)と取り組み

日本の子供・若者の憂慮すべき現代的(社会的)課題をこのまま放置していいのだろうか？

(1992年学研『今「子供」が危ない』の警告)

- ◆ 運動不足が深刻 → 「体幹」が鍛えられておらずケガする子が増
- ◆ 姿勢が悪い → 健康、脳に影響
- ◆ 食生活の変化 → アレルギー、不妊症、奇形児等
- ◆ 残念な社会現象 → いじめ、暴力、不登校、学級崩壊等

早稲田大学庭球部小学校テニス教室の開催、小笠原流礼法との出会い
47都道府県、台湾、マレーシアにおいて延べ130万人の園児・児童が参加

活動25年を経て、「三つ子の魂百まで」プロジェクトの
「0歳からの立腰・体幹遊び」[®] に辿り着く
＜マハティール首相が賛同され、マレーシアへの展開を検討した＞

2. 「0歳からの立腰・体幹遊び」[®]とは？

立腰

教育哲学者
森信三氏



千葉敬愛短期
大学長
明石要一氏
提言



キマナー
調ベズ

小笠原流礼法
鈴木万亀子氏



美しい姿勢・挨拶

体幹遊び

日本サッカー協会
川淵三郎氏
提言



食と健康財団
道見重信氏



食と健康

3. 実践プログラム

毎日の立腰タイム

授業の始めと終わりの挨拶を通して体幹を鍛える
(実践プログラムA)



起立 礼 着席

学校生活において身体活動量を増やして体幹を鍛える
(実践プログラムB)



ケンケン相撲など

朝の会等での運動を通して体幹を鍛える
(実践プログラムC)



タオルを使った運動など

立腰・体幹を鍛えることにより、「正しい姿勢」が身につく

5. 実践後の効果

＜体・徳・知＞バランスの「取れた人材育成

①子供の体幹を鍛える研究 (東京都教職員研修センター 早稲田大学スポーツ科学学術院)

- ◆ 立位姿勢は、頭と首の位置が後ろに動き、猫背傾向が改善
- ◆ 座位で「良い姿勢」の児童が増加。体幹が鍛えられ、座った姿勢に気を付け意識が働く
- ◆ 姿勢の良い小学生は自己抑制が高い傾向、中・高校生は学習が楽しい感じている傾向

②「マナーキッズ」を市民科授業に 取入れて(品川区立浜川小学校)

- ◆ 朝、昼15分間、全校朝会、児童集会、授業の最初と最後ほか様々な場面でマナーキッズの礼法を実践
- ◆ CRT(学力定着度調査)は、H22年はH21年より全学年で大きく向上。中学年以上のアンケート調査でも、学習・生活規律が身につけている児童は、身につけていない児童より、一年間で大きく学力が向上した。

戸越小学校「規範意識の向上と定着」により、学力が大きく向上

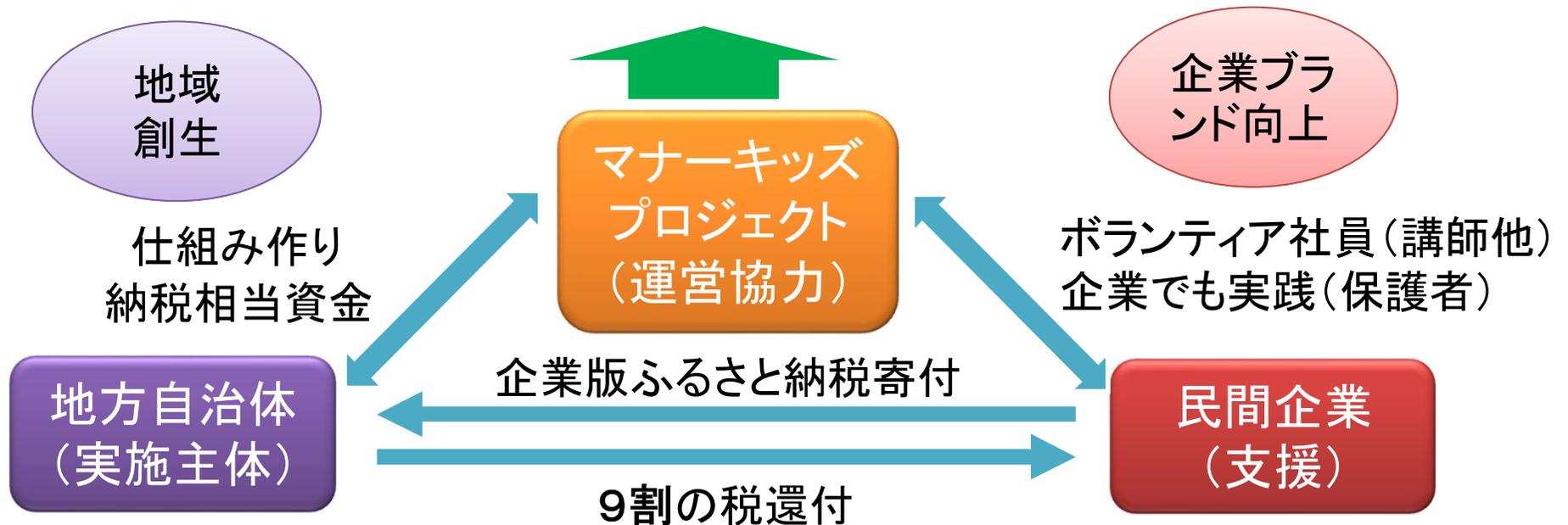
③日本体力医学会大会の発表(上武大学教授, 筑波大学名誉教授 大森肇他)

- ◆ 3歳児に週3回、3か月の模倣運動を行った結果、運動した群は、しない群より言語検査得点の伸びが大きかった
- ◆ 小学校5年生32人にマナーキッズ教室を実施。前後で「気分プロフィール検査」の結果、混乱、緊張・不安、抑うつ・落ち込み、怒り・敵意等が低下した

5. 地方創生SDGs事業マッチング構想

地方自治体が実施主体、民間企業は企業版ふるさと納税制度を活用し、マナーキッズと事業マッチングで「健康と福祉 (SDGs3)」と「みんなに教育 (SDGs4)」に貢献

「三つ子の魂百まで」プロジェクトの推進強化・拡大



こども家庭庁(マッチング事業の制度・基盤の構築を目指す)R5年4月発足

企業版ふるさと納税概要

寄付額

企業版ふるさと納税

通常の寄付

損金算入
約3割

税額控除

最大6割

企業負担
約1割

例 1,000万円寄付すると、最大約900万円の法人関係税が軽減

企業にとって「企業版ふるさと納税」活用のメリット

社会貢献

・SDGsへの寄与・創業地等の地域への恩返し・事業への貢献

事業展開

・企業のPR・地方公共団体との新たなパートナーシップの構築

・事業参加で社員の新たな経験に

6. ○○市「三つ子の魂百まで」プロジェクト展開策(案)

①「0歳からの立腰・体幹遊び」講師養成講習会兼講座の募集と開催

保育士、教諭、保護者等を対象に対面とオンデマンドで開催する。
第1回は、R4年10月1日(土)～10月10日(月) 10P参照

② ○○市の目標設定

いじめ、不登校、暴力行為、骨折、発達障害、アレルギー、
体力の向上、学力の向上、医療費の削減目標値(3年後、5年後、
10年後)を設定。 11P参照

③ 実践の際、実績効果をデータにしてフォロー

「立腰・体幹遊び実績表」及び「子育て保護者の講座受講比率表」、
「実施実績表」 12～13P参照

④「三つ子の魂百まで」奨励金(年10万円程度)

上記(3)のフォロー結果、高い達成率の個人、団体に支給。

7. 「0歳からの立腰・体幹遊び」オンデマンド配信 講師養成講習会兼講座のご案内 (対面式講師養成講習会兼講座もあります)

①講習会兼講座の趣旨・狙い	マナーキッズプロジェクト理事長 田中日出男
②0歳からの立腰教育	福岡市清水保育園園長 江寄尚子
③0歳からの体幹遊び	根本わくわく体操教室代表 根本正雄 甲斐市あおぞら保育園園長 村井つかさ
④子供の体幹を鍛える大切さ	マナーキッズプロジェクト最高顧問 川淵三郎
⑤運動遊びが子供の脳と体を鍛える	安田式体育遊び研究所長 居関達彦
⑥日本の伝統的な美しい姿勢・挨拶	小笠原流礼法的伝総師範 鈴木万亀子
⑦家庭内の躰	小笠原流礼法的伝総師範 鈴木万亀子
⑧「マナーキッズ」調べ	千葉敬愛短期大学学長 明石要一
⑨食と健康	食と健康財団前理事長 道見重信
⑩子供の体幹を鍛える研究	早稲田大学スポーツ科学学術院教授 間野義之
⑪幼児期の言語機能に及ぼす模倣運動の影響	上武大学教授、筑波大学名誉教授 大森肇
⑫規律正しい児童は学力も大きく向上する	品川区立浜川小学校

〇〇市目標値の設定



項 目	現在数値	3年後目標値	5年後目標値	10年後目標値
いじめ				
不登校				
暴力行為				
骨折				
発達障害				
アレルギー				
体力の向上				
学力の向上				
医療費の削減				

立腰・体幹遊び採用園、小学校の目標値の設定

立腰・体幹遊び 実績表

〇〇保育園 〇〇組



項目			実績	
立腰	毎日の立腰タイム	できた	概ねできた	できなかった
	授業の際、食事の際に立腰			
	挨拶は自分からする			
	返事は「ハイッ」とはっきりする			
	履物は揃える、椅子は入れる			
体幹遊び	授業の始めと終わりの挨拶を通して体幹を鍛える			
	体育の時間等において身体活動量を増やして体幹を鍛える			
	朝の会等での運動を通して体幹を鍛える			
「マナーキッズ」調べ	「言葉」「お辞儀・挨拶」「歩き方・姿勢」「生活」「社会規範」を親子でチェック			
食と健康 (任意)	健康の鍵は、5歳位までに決まる腸内細菌。日本の食文化の原点に立ち戻ろう。食事の改善に挑戦			

	できた	概ねできた	できなかった
講座受講比率	90%～100%	70%～89%	69%以下

子育て保護者の「0歳からの立腰・体幹遊び」実施実績

項目		実績		
		できた	概ねできた	できなかった
立腰	食事の際に立腰を実践している			
	挨拶は自分からする			
	返事は「ハイッ」とはっきりする			
	履物は揃える、椅子は入れる			
体幹遊び	親子で一つの項目でも毎日実践している			
「マナーキッズ」調べ	70点以上が合格です。70点以下でも1点でも向上すれば合格です			
食と健康	腸内細菌の重要性を理解しています。			
	食事の改善に挑戦しています			

8. 企業版ふるさと納税寄付金の使途(案)

- ①「0歳からの立腰・体幹遊び」講師養成講習会兼講座開催費と参加費の補助
- ②講師養成講習会認定証の所持者で「0歳からの立腰・体幹遊び」で高い実績をあげた保育士、教諭、指導者他に、「三つ子の魂」奨励金の支給
- ③「外遊び空間の整備」他の助成
 - ・保育園、幼稚園園庭の芝生化➡裸足で遊び、体幹を鍛える
 - ・公園等に運動設備常設➡3世代の交流の場に
- ④子ども食堂の運営費用

詳しくは、

企業版ふるさと納税ポータルサイト

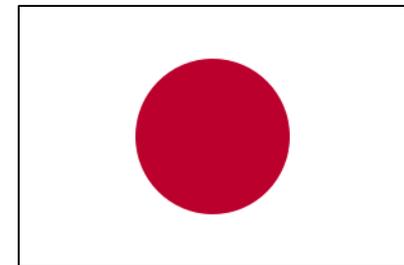
検索



9. 目指すもの

- ◆国、地方自治体、企業、保育士、教諭、指導者、保護者は強い志をもって粘り強く実践し、
- ◆体・徳・知のバランスのとれた人材育成により、
- ◆いじめ、暴力、不登校等の現代的(社会的)課題を克服すると共に、
- ◆世界の人々から尊敬される日本人に！

「愛くるしい日本国民の微笑、類なき礼節、上品で果てしないお辞儀と明るく優美な表情には、はるかに心よさを覚えます」
(明治時代、米のシモドア女性記者の日本記より)



お問い合わせ先

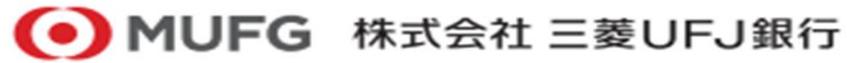
166-0002東京都杉並区高円寺北3-22-3デルコホームズ4階

03-3339-6535 office365@mannerkids.or.jp

<http://www.mannerkids.or.jp/>

後援: スポーツ庁、日本商工会議所、公益財団法人日本スポーツ協会(文部科学大臣杯マナーキッズショートテニス全国小学生団体戦)、公益財団法人日本オリンピック委員会(文部科学大臣杯マナーキッズショートテニス全国小学生団体戦)他

特別協賛



協賛



賛助



三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社

(令和4年 9月25日 現在)